

2022 年度事業報告

1. 会員数（2023 年 3 月 31 日現在）

96（個人 95 名、団体 1 機関）

	2022 年度増	2022 年度減	計
正会員	3 名	6 名	82 名 (うち海外在住 8 名)
学生会員	1 名	0 名	2 名 (うち海外在住 1 名)
賛助会員	0 団体	1 団体	1 団体
特別会員	1 名	0 名	10 名 (うち海外在住 8 名)
名誉会員	0 名	0 名	1 名
計	5 名	7 名	96 会員

2. 総会

- ・2022 度総会（2022 年 5 月 28 日開催）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン（Zoom ミーティング）により開催した。
- ・議決権を有する会員のうち、参加者が 21 名、委任状提出者が 29 名で、議案 6 件が原案通り承認された。

3. 活動状況

（1）講演会等

- ・「日仏関係史研究の新たな視点と史料・文献—中山裕史著『幕末維新期のフランス外交 レオン・ロッシュ再考』の編集を終えて」をオンライン（Zoom ミーティング）により開催
日時：2022 年 7 月 16 日（土）16:00-18:00
講師：中武香奈美氏（前横浜開港資料館主任調査研究員）
参加：40 名
- ・「思想家としてのガブリエル・ノーデーその多彩な思想と図書館をめぐる」をオンライン（Zoom ミーティング）により開催

日時：2023年3月11日（土）17:00-19:00

講師：伊藤敬氏（ガブリエル・ノーデ『図書館創設のための提言』訳者）

参加：50名

(2) 刊行物等

①単行書

- ・2022年8月にガブリエル・ノーデ『図書館創設のための提言』（伊藤敬訳、日仏図書館情報学会発行）を刊行。→（4）参照

②学会誌『日仏図書館情報研究』

- ・2023年3月20日に第46号を刊行。

③『日仏図書館情報学会ニュースレター』

- ・No.236 (2022.4.30)、No.237 (2022.7.31)、No.238 (2022.11.30)、No.239 (2023.1.31)の4号を刊行。

(3) 小林宏記念日仏図書館情報学会賞

- ・第12回（2021）学会賞の選考委員会については、新型コロナウイルス禍のため2022年4月に電子メールにより開催し、中武香奈美氏（前横浜開港資料館主任調査研究員）に学会賞を授与することを決定した。
- ・第13回学会賞の推薦公募を実施（2023.1～2023.3）。

(4) 学会創設50周年記念事業の実施

- ・学会創立50周年記念出版として、2022年8月にガブリエル・ノーデ『図書館新設のための提言』（伊藤敬訳、日仏図書館情報学会発行）を刊行した。
- ・上記刊行に関連し、2023年3月に伊藤敬氏による講演会「思想家としてのガブリエル・ノーデーその多彩な思想と図書館をめぐって」を開催した。→（1）参照
- ・2022年3月に開催された学会創立50周年記念イベント「フランス国立図書館の電子図書館 Gallica の利活用促進・創出戦略」におけるアルノー・ボーフォール氏（フランス国立図書館（当時））による講演「Voyage au cœur de la stratégie de Gallica（Gallica—その戦略のゆくえ）」の記録を、『日仏図書館情報研究』第46号に和訳と共に掲載した。

(5) 日仏会館及び日仏関連諸学会との連携

- ・2022年度の日仏関連学会連絡協議会に参加（2022.7.12及び2022.12.13）